

明るく元気の出る町

平成6年1月1日発行・毎月1日 編集・発行 / 秋田県東由利町役場企画課

広報

ひがしゆり

HIGASHIYURI

東由利町

1994

1

NO.466

迎春
1994 元旦

今年は成年!



小野恭夫さん(宿)のパグ犬



1994
新春
広報レポート

すべてが感動の11日間

ヨーロッパの農業を学ぶ

「ヨーロッパの農業を学ぼう」。今年度の町民海外研修は、十月二十九日から十一月八日までの十一日間にわたって行われました。今回は、大内町と合同で行われ、大内町から六人、本町から九人が参加しました。参加者たちは「ヨーロッパで見るものすべてが感動でした」と話しており、その内容を「新春広報レポート」としてお知らせします。



デンマークの種苗会社で記念撮影

改良品種の価値は金の数倍

団長・小松佳和さん(田代)



北国デンマークの温室に、東南アジア原産のガーベラの花が満開でした。

今も息づく中世の都市

大井法生さん(東光苑)



農業を目的とした研修でしたが、私にはデンマーク、ドイツ、フランスのどの国に行っても美しい田園風景と、昔のままに残された中世の建物に目を奪われるばかりでした。

私たちが見学したディネフェルト社は、



百五十年もの実績のある品種改良が主な種苗会社で、三十のプロジェクトチームで研究し、日本企業の開発したカプセルを使って、世界各国に輸出しているそうです。

その日、バイヤー達が大量のガーベラの花を熱心に見入っていました。話によると二年後に種苗として出荷されるそうです。

温室の中には、ペゴニアの花も咲き、改良品種の価値は金の数倍との事で、ハイテクを使った施設もさることながら、バイオのすばらしさに驚かされました。

ドイツのローテンブルクは中世の城郭都市ですが、都市そのものが当時のまま残されており、今は観光都市としてにぎわっています。その住人のほとんどは、観光業として生計を立てているとのこと、昔のままを残し利潤を得るなど合理的なところが伺えました。しかし、さまざまな時代の建築物を移築する事なく、今も建てられた当時のままを残し、そこに住む人々の生活の中で息づいていることに驚きと感動を覚えました。

見るものす

東由利町・大内町 合同海外研修

日本農業の体 質改善を実感

今回のヨーロッパ海外研

修のテーマは農業研修で、デンマークの種子製造販売会社の園芸研修がありました。ここは、野菜や花の種子を世界一〇〇か国に輸出しており、



横山昌喜さん(智者鶴)

日本商社との技術提携や地区農家との協定などで一五〇分の規模で企業化しており、技術革新と経営規模の拡大に向かつて進む将来有望な会社です。日本の農業も、国際競争に勝つため、農業環境整備、製品の品質向上、コスト低減のための経営規模の拡大等、生き残りをかけた問題が山積しています。日本農業の体質改善を真剣に考える必要があると思いました。

また、ドイツで行っている「美しいわが町コンテスト」で入賞したアンリードという町を視察しました。コンテ

ストの目的は、町の自然を大切にし、地方文化を継承することです。具体的な内容は、道路、ゴミ処理、下水、住民活動、建築形態、村の緑化などを審査するもので、賞金はありません。「自分たちの村だから、わが町の伝統文化、美しい自然を我々世代が守っていかなければならない」という考えに立って行われていました。

今回の研修で、自分たちの視野が広くなり、この体験を何かに生かしたいと思えます。

飛行機での長い時間を経て昼から昼

への八時間時差の地は、空から見ると一面雲海の底にありましたが、地上に降りてみると絵葉書のようなきれいな世界でした。

研修と言うには程遠く、準備不足の感を否めない自分でしたが、まずは当地の体験から始める事になりました。道中見るものが全て目新しく、また小

建物の美しさに感動



佐々木徳昭さん(大琴)

綺麗なのがとても印象に残りました。

まるで積み木細工のような石の建物をみると地震やその他の災害が多く発生する日本には馴染みがたい気がしました。また、事のけじめにこだわる気質の為か、造作物は一様にリアルで彼らに似て美しい印象を受けました。ともすれば自分を見失い流されやすい昨今、心も環境も整える必要があるのではと感じました。

住民の協力で 美しい街に

遠藤誠功さん(新処)



アウトバインを走り、ロートンブルクへ。中世の宝石、赤い城という意味を持

つ名の通りレンガ色の三角屋根を連ねた家並みはおとぎの世界のイメージ、市街をぐるりと囲む城壁は総延長二十五メートルにも及び、城壁の上は通行することができ、道路とは違った目線で中世の街を見学できる。

中世の街を維持できているのは、住民の一致した協力で城壁都市の景観が損なわれる事なく形成されている。また、型通りの保存でなく、生活しながら

らそのまま中世につながるように住民ぐるみの街づくりの努力があるからだと思います。ロートンブルク美しさは、中世の街並みが残っていたこともあるが、住民がそれぞれの立場で協力し、町を愛し、住みやすくきれいな町にしようとして努力しているからなのである。

空想から 現実の世界に

小野邦子さん(宿)



十一日間のヨーロッパ研修は、出発する時の不安より、充実した楽しい思い出でいっぱいとなりました。

デンマーク、ドイツ、フランスの三か国それぞれに、そこに住む人々の生活やその国土に根付いた芸術性の高さを目の前にして感心するばかりでした。フランスで訪ねたベルサイユ宮殿では、優雅な宮廷生活が繰り広げられている一方で、フランス革命の舞台にもなったという本でしか見たこともなかった場所に自分が立っている事が不思議でたまらなかつたのです。同じ時代の日本では考えられない程の技能の発展に

は、目を見張るものがありました。街のあちらこちらに百年以上の建造物が目につきました。フランスをはじめ、ドイツやデンマークも昔の物を大事にして、その街にある風景を決して壊す事なく、それを基に特徴のある街がほとんどでした。今まで空想の中しかなかったヨーロッパの風景が、実際に行ってみて歴史の重さや人々の息づかいが直接感じられ、とても良い研修ができたと思います。

わが町の良さを再認識



遠藤正人さん(役場)

飲料水は日常生活に欠くことのできない資源であるが、ヨーロッパの水は、

美しいわが町 アンリード

人口三百人ほどの小村、ドイツ・アンリードは「美しいわが町」運動コンクールにおいて優れた評価を得た美村である。この運動は、農協が推進母体となりドイツ全域で行われているものであるが、「村の形態と発展」、「住民の互助活動」、「建築家屋の保全」、



青木哲人さん(田代)

「村の緑化・自然環境」などの五部門で評価が与えられるものである。「住民全体の総意としてこの村は「物質的豊かさの追求」よりも「伝統を守りながら、自然と共生する町づくり」を標榜するコミュニティ運動を実践し

すばらしい 体験に満足



小松育子さん(役場)

私にとっては、初めての海外となりました。時差、飲水等は一般に言われるほどのものではありませんでした。今回の研修を思い返してみると、パ

物、中世の街並み、躍動的な都市、絵画的な風景、ごく日常的なもの等、それぞれが頭に残り、実を見て、その空気に触れてみなくては分からないものを感じることができました。農業視察を目的とした今回の研修で

ているのである。エコロジー運動が国際的潮流となっている昨今、住民自らの手による実践活動を通し、国際人として空気と水と命にあふれる美しい地球に生きていること、東由利人として厳しい自然に打ち克つ力強さと、大地の恵みを一杯に戴く有り難さを再認識できたことが一番の収穫であった。

今や私の感心が、多少それてしまったことに反省しておりますが、この十一日間という短い期間にあれだけのものを目にし、体験できたという満足感はこちらの自分に少しだけいい意味での欲を与えてくれたような気がしています。またこの研修で新しく知りあつた人達、これもまた得たものの一つでしょう。

の二種類がある。炭酸入のミネラルウォーターは、飲み慣れないためか、研修参加者の間では不評であった。わが町には、炊事、洗濯、飲用などすべての用途に使用できる安全な水が給水されている。私たちは、将来にわたり安全な水資源を確保するため、今以上に努力しなければならぬ。私は、今、二日酔いの朝に、水道の蛇口をひねるだけで、コップ一杯のおいしい水を飲めるしあわせを感じている。

第2回高橋宏幸賞・童話県コンクール表彰式

感動する本との出会いを大切に



▶入賞者一人一人に絵本と色紙をプレゼント

第二回高橋宏幸賞・童話(感想文・感想画)秋田県コンクールの表彰式が二月二十三日、有鄰館で行われました。

この賞は、町功労者で絵本作家の高橋宏幸先生が平成三年度に第十五回児童文芸家協会賞を受賞したことにちなんで昨年創設されたもので、今回は昨年より九十五点少ない八百三十点の応募がありました。秋田大学教授の佐々木良三先生を委員長に六人の審査員が厳正に審査を行い、各部門ごとに最優秀賞一点、優秀賞五点、佳作七点など百七十七点を入賞作品にしました。表彰式には、佳作以上の入賞者とその父兄や関係者約一〇〇人が出席。

最初に阿部幸悦町長が「子供たちに多くの本を読んでもらい、夢のある作文、絵をかいてほしい」とこのコンクールを実施している。今後もこのコンクールを実りあるものにしていきたい」とあいさつしました。

審査好評の後表彰に移り、入賞者一人一人に阿部町長から賞状と記念品が高橋宏幸先生から絵本と直筆の色紙がプレゼントされました。

最後に高橋先生が「一つの本が自分の一生を決めることがある。良い本との出会いが感動を呼び、優れた作品は心に残るものです。みなさんも多くの本を読んで感動してほしい」とあいさつしました。

なお、このコンクールの入賞作品は、一月十四日から二月一日まで、本荘市のジョイフルシティに展示されること

になっています。主な受賞者は次のとおりです。(敬称略)

- 【感想文の部】▼最優秀賞Ⅱ佐藤幸恵(高瀬小)▼優秀賞Ⅱ今野裕優(仁賀保町・院内小)、小松大華(八塩小)、高橋英樹(大琴小)、阿部純子(象潟小)、佐々木美佳(本荘市・北内越小) 【感想画・小学生の部】▼最優秀賞Ⅱ伊藤昌士(本荘市・新山小)▼優秀賞Ⅱ畠山和人(大琴小)、佐藤厚(象潟町・上郷小)、八嶋春樹(八塩小)、佐藤磨璃(仁賀保町・平沢小)、佐藤泰子(八塩小) 【感想画・保育園、幼稚園の部】▼最優秀賞Ⅱ鈴木一磨(本荘市・清徳幼稚園)▼優秀賞Ⅱ大日向志穂(永慶保育園)、遠藤裕二(同)、三浦圭太(秋田市・清徳幼稚園)、石垣裕太郎(岩城町・亀田保育園)、須田由香(象潟町・小砂川保育園) 作品の内容については2月に紹介する予定です



新年のごあいさつ

東由利町長 阿部 幸悦

新年明けましておめでとうござい
ます。

昨年は、長く記憶に残るであろう

激動の一年でありました。まず、寒中二月の洪水に始まり、冷夏そして冷害の恐怖にさらされました。標高二五〇以上の田圃は壊滅的被害を受けました。それ以下では、予想よりは被害も少なくホットしたものです。しかし、大変な減収であることには変わりありません。その対策、再生産に向けての施策におおわらわしました。

七月には細川連立内閣の成立がありました。三七年ぶりの自民党単独政権以外の政府であります。年末には、この政府から、冷害に追い打ちをかけるように、ガット・ウルグアイ・ラウン

ド交渉において、輸入自由化につながるコメ市場の部分開放を受け入れるとの発表がありました。これは、三回にわたる国会決議、また食糧制度を守るためと減反政策に協力してきた生産者農家に対しても重大な裏切り行為であります。本当に怒りを覚えたものです。一日も早く、日本の新しい農業像を作り上げて私たちが安心させてほしいものです。

暗いことばかりではありません。うれしく楽しいこともたくさんあります。国道三九八号の誕生、温泉ができたこと、「げんき館」のオープン、民謡

チャリテイ早苗振りまつり、東由利音楽祭などなど。こうした積み重ねのうえに新年が始まります。

今年には東由利誕生四十年、町制施行二十周年にあたります。記念すべき年をみんなでお祝いし、それがまたあたらしい町づくりにつながります。またあたらしい町づくりにつながります。またあたらしい町づくりにつながります。またあたらしい町づくりにつながります。

今年も皆さんにとって、明るくげんきなよい年になりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

12月 定例議会

行政報告

出稼ぎは60人減少

十二月一日現在の本町の住民基本台帳人口は五、五八六人、この内六五歳以上の方は一、三三五人となっており、高齢者比率は二三・八割となっております。また、四月から十一月末までの出生者は三〇人、死亡者は五一人となっております。

デイサービスセンターは、本体、給排水、衛生の工事が行われており、十月末現在の進捗率は五六割となっております。

防火水槽は、消防施設整備事業で三基、農村総合整備モデル事業で七基の計十基が計画どおり完成しています。

消防団緊急伝達装置のスピーカーは本年度、小倉、舟打場の二か所に増設し、合計九か所となっております。

仲ノ沢の粗大ゴミ処理場は工事が完成しました。今後の利用方法については、月に何回かに使用日を限定して利用したいと考えています。

今年度の出稼ぎ状況

は、製造業からの求人はなく、ほとんどの方が土木関係に就労しています。さらに高齢者の就労はほとんどない状態になっていきます。冷害の影響で出稼ぎ者が増えるかと思われましたが、長引く不況も影響してか、十二月一日現在で昨年より六〇人少ない二八〇人の方が就労しております。

一等米比率 87・4%

米の出荷状況についてですが、十二月十日現在、九八、三二六袋が出荷されており、限度数量に比較して六四・二割となっております。一等米比率は八七・四割となっております。

冷害対策については、対策本部を設置して各種対策を協議していますが、本定例会では、水稻種子への助成、県単いもち病対策、育苗ハウス整備への助成などの予算計上をしております。冷害対策資金の貸付状況は、現在のところ天災資金一、七〇〇万円、JA資金一億二、一〇〇万円で合計一億三、八〇〇円ほどになっていきます。最終的には二億円程度になると見込んでいます。これに対する利子補給は、三月の定例議会でも債務負担行為の議決をお願いする予定です。

十二月の家畜市場は、去勢牛が三五万六、〇〇〇円、雌牛が二三万円となっております。今年全体としては、上場頭数が一、〇一〇頭（前年一、〇〇一頭）、成立頭数が九四一頭（前年九一六頭）、

平均販売額が二八万九、〇〇〇円となっております。

町営住宅 来年度3戸建設

国道一〇七号奥ヶ沢工区は、来年十二月の完成を目指して工事が進められております。二つのトンネルの間には、高橋宏幸先生のレリーフも完成しています。板戸地区のチェーン着脱所は完成しています。懸案の久保・板戸間の改良は、概略測量設計図面が完成しました。平成七年度の着工に向けて、県と協議中です。

国道三九八号は、十二月十六日の期成同盟会で、全線を拡幅するように陳情書を作成し、要望することになっています。

県道仁賀保矢鳥館合線の館合バイパスについて県では、来年度用地買収を完了し、予算残で工事を進める予定とされています。神岡坂部横渡線は、蔵地区の流雪溝四一〇mが完成しています。羽後向田館合線は、三四〇mの改良が完成しています。今後の部分は来年度当初予算に計上される予定です。横手東由利線は、十二月六日に期成同盟会で現地踏査を行いました。整備が進むよう今後も強く要望して行きます。

農村総合整備モデル事業は、昭和五十五年からの事業で来年度で十五年間の計画が完了します。総額で一七億一、〇〇〇万円の計画であります。来年度は向田、袖山の農村公園、西久保



のガケの崩壊防止などを行います。

特定交通安全施設整備事業では町道台山線の舗装三五〇㊦を整備しています。最終的には、一、二七〇㊦の計画です。

町営住宅は昨年度四棟、六世帯分を整備しましたが、現在全部利用されています。来年度はさらに三戸程度建設したいと考えています。

今年の災害は、道路災四か所、河川災二一か所の計二五か所となっています。このうち、道路災は完成、河川災は十一月二十九日に発注し、三月十八日までの工期で工事が進められています。

新奥の細道(八塩)完成

道の駅は、平成四年度から七年度の事業で工事が進められています。今年度は下層路盤工、排水整備、照明十一基など、来年度は、トイレ、休憩所、水飲み場、平成七年度に駐車場の舗装、案内板などを設置して完成の予定です。総事業費は当初一億七〇〇〇万円の予定でしたが、最終的には四億五〇〇〇万円の予定です。道の駅に隣接して計画されている活性化拠点施設は議会や五十人委員会で検討されていますが、道の駅の完成に合わせて、レストラン、温泉保養施設、ショッピングセンターを国の補助事業等を利用して整備する計画です。

新奥の細道で整備されている「山と

湖に親しむ八塩周遊のみち」は、十二屋を整備する予定で国、県要望中です。また、八本杉を通る「古代大木と旧街道のみち」は来年度着工できるように要望しています。

下水道整備に理解を

下水道整備は、町民の方々の協力を得られるようなPRやアンケート調査を行っており、先日実施されたアンケート調査の集計がまとまりました。

町内の全世帯を対象にし、回収率が七

二割でした。この調査によると七〇㊦の方が「下水道は必要」と答えている一方、二〇㊦の方が「わからない」と答えております。今後は、この二〇㊦の方々を中心に、下水道事業に理解を求めるとともに、次世代へ引き継げる「山紫水明の里」を守っていききたいと考えています。

大平スキー場は、当初予算で調査費を計上していますが、このほど報告書ができました。この報告書をもとに、年次計画で整備していく予定です。

東由利中学校体育館の暖房設備が十

月三十一日に完成しています。

町税の収納率は73%

平成五年十一月末現在の町税の収納状況は、調定額四億四千七百七十一万三千円、収納額が三億二千三百三十五万五千円で収納率が七三・二㊦、前年同期に比べて二・五㊦の減となっています。冷害の減免条例へは三一五名が申請していますが、実際に適用される人は、共済金の確定により今後決定するものと思われま

可決された主な議案

一般会計に六千万円追加

平成五年度町一般会計に五千九百三十一万二千元を追加し、総額を四十三億四千百三十二万六千元としました。

主な内容は次のとおりです。

▽活性化拠点施設用地購入費四千六百五十八万三千円▽全納農家や納税組合への納税▽保育所児童措置費負担金千七百四十四万円▽農村総合整備モデル事業費二千二百一十一万円

町職員定数を五名増員

町職員定数のうち、老人福祉施設

職員を五名増員し、全体で百一十一人となりました。

一般職の給与を改訂

一般職の給与を平均で二・〇二㊦引き上げました。

スキー場料金を見直し

大平スキー場の料金を改正しました。この改正により、今までの一回券(小人三〇〇円、大人五〇〇円)、十四回券(小人三〇〇円、大人五一〇円)を五回券(小人二〇〇円、大人二五〇円)、十二回券(小人四〇〇円、大人五〇〇円)にそれぞれ改め、貸スキー等の料金も見直しています。

官行造林契約解除で立木を取得

館合字善徳八八番地の官行造林地九・

〇一㊦の契約を解除し、杉などの立木を一千八百五十四万円で購入する議決をしました。

高額療養費貸付基金を増額

高額療養費貸付基金利用者の増加により、基金の額を二百万円から四百万円に増額しました。

活性化拠点施設の用地を取得

道の駅に隣接して計画されている活性化拠点施設整備の用地約三二・八二〇・四三平方㊦の用地購入を議決しました。

リフトバスを購入

デザイナーズセンター建設に伴い、車椅子二台、乗客十八人が乗ることのできるリフトバスの購入を議決しました。

一般質問

小松悌之助議員①町活性化拠点施設整備構想の経過と今後の見通しは②老人保健福祉計画の内容は③児童数の減少による小学校再編の考えと登校拒否の対策は④個人むけ合併処理浄化槽普及の考えは⑤在京経済人懇談会の設置は⑥町民歌制定の考えは

町長・教育委員会①五十人委員会等で審議している。レストラン、温泉保養施設、ショッピングセンター等を計画している②ヘルパーの増員や施設整備などハード・ソフト両面で対応している③学校再編は関係機関と協議のうえ、これから推移を見守り慎重に対応したい。登校拒否児童は現在

いないと把握している④下水道計画全体の中で考えていきたい⑤名称はともかく東京東由利会を通して、在京人との懇談を進めて行きたい⑥来年度の記念事業の中で検討していきたい

佐々木長円議員①学校沿革誌への教育委員会での指導は②大琴小の児童数減少による複式化への対応は③大台冬季分校への教育委員会の考えは④除雪オペレーター技術養成の取り組みは⑤除雪委託業者との密な連絡を⑥未発注の現場への業者看板の設置は町民の誤解を招くのでは

町長・教育委員会①各学校の歴史がわかる沿革誌は、永久保存なので確実に完備するよう指導している②関係者、関係機関の同意を十分踏まえて対応したい③保護者と地域住民の意志がまとまる事を前提に、よい方向を見いだすよう検討したい④各機種に応じてメーカーから職員が来て指導もしている⑤除雪連絡会議や除雪計画で協議し、パ

④道の駅周辺へのプラネタリウム等の考えは⑤羽後交通バスの黒淵線を将来も不安なく運営できる対応を

町長①JAの流通ルートにのせる事が農家の所得増につながると考えるので検討しながらPRしたい。②肥育素牛の導入や補助金等積極的に検討している③当面する課題を解決後に検討したい④具体案のようなものはないが考えてみたい⑤羽後交通に要望していく

高沢忠議員①本町農業の将来展望は②下水道事業の推進計画は③消防団緊急伝達装置の黒淵地区サイレンの改修を町長①新たな視点に立ち関係団体と充分協議し、振興策を検討したい②アンケート調査の結果も踏まえて推進する

③現地で確認し、検討したい
佐藤智治郎議員①板戸地内の土取場の降雨時の対策と跡地利用の考えは②館合流雪溝の水源である頭首工の修理と増設を③山崎地内の水路の整備を④松沢川から新沢川への水補給のための水路を⑤五海保・八日町間の既設流雪溝の反対側への流雪溝の整備を⑥投雪口の増設を⑦水沢橋の架け替えを⑧湯出野遺跡と国道を結ぶ橋の考えは

町長①関係者と協議している②農業用水とのかねあいがある③実施すること検討したい④地形的に流れるとすれば県に要望したい⑤五海保・前田間は県に実施を申請中、前田・八日町間は県に要望している⑥現地を見て検討したい⑦現在の橋を強化し、歩行通行に支障のないようにしたい⑧周辺整備一

体の中で考えていきたい
佐藤萬一議員①町、JA、農家が一体となった将来ビジョンの確立を②実験農場をJA、技術センターでの運営にしては③土地、住宅を盛り込んだUターン促進の考えは④冷害の被害農家が税を全納していた場合の還付を

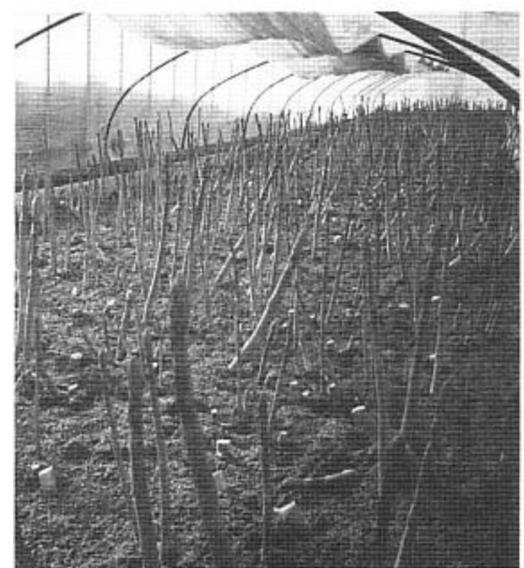
町長①各種関係機関役職員による協議会設置を考えているので、その中で検討したい②運営には特に問題ないと考えている③可能などころから実施していきたい④奨励金、補助金等で対応していきたい

小松賢議員①JAの集荷状況から見て作況指数八二は不適當では②米の輸入自由化反対のうねりを本町から展開すべき③板戸土取場の土砂流出への誠意ある対応を作況指数には町は関与していない

町長①作況指数には関与していない②政府が決断した。一日も早い新しい農業像の施策を要望していく③関係者と協議している



▶児童数減少への対応は慎重に(写真・実験農場にて)



▶実験農場ではアスパラが最盛期

第四回本荘・由利ふるさと創生 作文コンクール中学校の部最優秀賞

夏には盆踊り、冬には雪祭り、四季折々の行事を私は毎年楽しみにしている。どの行事も東由利の気候や文化を十分に生かし、参加しやすくなっている。どの行事も思い出になるように組まれているのがよくわかるし、そのように意図した町長さんの苦労もその反面にうかがわれる。

私は中学生になって、上に立つ人の苦労がずっとよく見えるようになった。生徒会長やそれを補佐する総務の人達も行事があるごとに、いつもがんばっている。生徒会長と町長さんを比べても同じことがいえるのではない。いや、東由利の上に立つ人は、もっと他のことでも苦労している気がする。

みなさんもご存知のように最近東北地方だけではなく、全国各地で過疎化が進み、たくさんの方が都会へ出ていって働いている。たくさんの方が自分の生まれた町を離れて、他の土地で新しい生活を送ろうとしている。それを東由利の人達は、必死でおさえようとしているのだ。もちろん他の市町村でも同じようなことがおこっているが、どの町でも同じように何か対策を立ててなんとかがんばっている。しかし私に

は、他を含めてこの東由利の人達は、ただ単に過疎化をくい止めようとしているのではない気がする。それは、若者達にこの町のすばらしさをもう一度わかってもらおうとしているのではないかとこの町で思っている。私達は今年、東京へ修学旅行で行った。東由利町とは違うものを感じさせられ、目に見えない迫力と圧力が体に入ってきた。そして今までに見たことのない、なにか特別な手ざわりを感じた。それは、この町では見られないくさんの人ごみと、その中に生きづく



わたしのふるさと

東由利中学校三年 佐々木広子さん

活気や、なぜか人々の疲れさえも伝わってきた。反対に、私の心の中でそれさえも魅力になってしまった。その時、この中で生活してみたら、どんな感じがあるだろう。この国の最前線の場所生活したら、私はどう変わるだろう。と

しかし、東由利に帰ってきた次の日の朝、いつもと同じはずの空がひととき青く見えた。気付いたこともなかったが、今までより数倍……いや数段青が深く、雲がよけいにくっきりと見えた。東京の空は、晴れていても灰色のもやが見えたりしていた。太陽も光が

にぶかった。しかも、夜はネオンの光のきれいさはあるが、星が一つも見えなかった。私はそのときはただ単に、あれが大気汚染か。と思った。そして、後でよく考えると、都会へ出ていった人々が帰ってくる理由は、こういうことではないかと思つた。皆がすべつとこの空が見たいがために、帰ってくるのではないか。

私は、都会に住んでみたいと思つていた。流行などに直前で触れてみたい、ドラマなどのようにオシャレに生活してみたいと思つていた。しかしそれは、一時の単なるあこがれだったことに気が付いた。それに、どこに住むにしても生活していくことの大変さは、きっとものすごいのだろう。

私は将来、感受性を使った仕事につきたい。詩人や小説家、絵を描くのが好きなので、東由利の緑を描くのもいい。昔は、全国各地を写真で写して回りたいという夢を持ったこともあった。緑や青を写しとり、目に見えないものを感じたい。だがしかし、きつとどの町や村を回っても東由利以上のきれいな所は見つけられないだろう。こんな

にきれいで青い空は他にはない。それに、こんなに四季のはっきりした地域もめずらしい。夏は暑いし、冬には雪が降る。日本の南の方の人は、雪を実際に見たことのない人もいるだろうし、北のほうの人では、いやとのない人もいるだろう。夏が暑く、冬が寒い、そんな当たり前だがとても貴重な地域で生まれることができ、私はとても感謝している。私の感受性は、この東由利で育まれたのである。大人になって昔をなつかしむとき、その背景には必ずふるさとがある。昼も、夜も、朝も、星や太陽や大気や風のおいや、小さな頃遊んだ公園もある。まだ幼稚園の頃、木々のすき間から入りこんだ太陽の光や、夏の暑い日にシャボン玉で遊んだことも覚えている。

最近私は、東由利に永住したいと考えている。そして、この東由利のすばらしさを全国の人々に知ってもらいたい。この地だけは、あまり都会化しないような、しかも過疎化しないような場所であってほしい。都会から戻ってきた人が昔のままの東由利で安心できるような、この地が本当のふるさとだったと思ひ出にひたれるような場所であってほしい。そのための努力を、私もしたいと思ふ。



乾燥、調整で冷害を克服

平成5年産葉たばこ 10アール当たり最高は78万円

平成五年産の葉たばこの収納作業が十二月十七日から三日間増田町の日本たばこ増田葉たばこ取扱所で行われ、販売総額が一億四千四百八十六万四千五百五十円、十アール当たり五十八万六千二百五十七円となり、史上最高といわれた昨年に次ぐ豊作に関係者は大喜びです。耕作農家は五九戸、面積は二、四七一アールで昨年より、戸数で一戸、面積で九六アール減少しています。今年、冷夏、長雨の影響

で米は戦後最悪の不作となりましたが、葉たばこは、これらの悪条件を最終仕上げの乾燥、調整作業でカバーし、品質、量ともに好成績を残しました。特に十アール当たりの最高販売額は七十八万二千元で昨年の七十二万円を大幅に上回る結果となりました。由利、平鹿、雄勝三郡を管

轄する増田取扱所では「天候に恵まれない分、農家個々の技術でカバーしていただき、量、質ともに申し分のないできとなった。個々の技術の向上が所得の向上につながる葉たばこのメリットを理解していただき、新規の耕作者が増えてくれれば」と話しています。

広域組合の家畜保冷施設は1月6日から利用できます。本荘由利広域市町村圏組合で由利町に建設していた家畜保冷施設（死亡献畜の一時保冷貯蔵施設）がこのほど完成し、一月六日から利用できることになりました。申し込み、お問い合わせは由利町農業協同組合農産課（5313221）まで。なお、受付時間は平日は午前八時三十分から午後五時まで、土曜日は午前八時三十分から正午までとなっております。日曜、祝日は休みです。



5年産葉たばこ収納作業

1歳6ヵ月健診より

虫歯なんてないもん。



佐々木亜美ちゃん
(大琴・静八さん長女)



遠藤 樹くん
(家ノ下・卓哉さん長男)



小松優里香ちゃん
(宮ノ前・明さん長女)



山田菜津美ちゃん
(黒淵・等さん長女)



小松祐樹くん
(畑村・清和さん長男)



畠山 麻美ちゃん
(大吹川・勉さん二女)



高橋 孝聖くん
(新町・孝紀さん長男)



柴田 健弘くん
(新町・健治さん二男)



遠藤まどかちゃん
(小倉・武さん二女)

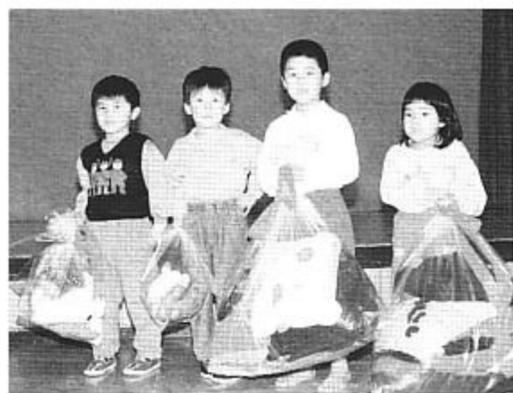


小笠原康人くん
(土場沢・順さん長男)

クッションを プレゼント

下郷分校が保育園に

下郷分校の生徒たちが十二月三日に永慶保育園を訪れ、家庭科の授業で製作したクッションなど三十点余りを寄贈しました。



袋いっぱいの贈りもの

同園を訪れたのは、大庭晴美さん（同校二年）、小野真木子さん（同一年）、工藤あけみさん（同一年）の三人。「小さいころから英語に親しんでほしい」と、アルファベット文字とそれが頭文字のイラストをししゅうしたクッションなどをプレゼントしました。子供たちは、「アップル」、「チェリー」などと発音しながら遊んでおり、早くも効果を見せていました。

本場中国の味を満喫

本場中国の水餃子を食べながら胡弓の演奏を楽しもうと、弁天島ほたるの会（高橋賢太郎会長）が十一月二十七日、老方館で講習会を行いました。

この企画は、今回の講師魯小葉さんが、昨年の雪上野球で来町した際に提案されたもので、秋田ふるさと塾主宰の佐々木三知夫さんが呼びかけてくれたものです。

当日は会員など約三十人が参加、本場の水餃子の作り方の講習を受けた後、水餃子を食べながら胡弓の演奏会。「さくら」や「北国の春」などの曲のほか、中国で正月に演奏される曲などが披露され、会場内は大きな拍手に包まれていました。



約30人が参加した講習会

専業主婦の交流の場に



子供たちも楽しそう

「専業主婦どうしの触れ合いを図ろう」と若妻たちが十二月十七日、玉米会館でクリスマスパーティーを開きました。

専業主婦は、ほかの人と知り合う機会が少なく、検診などで知り合ってもその場限りになってしまふことから、交流を深め、保育などの情報交換の場にしようとの志で話もあがったものです。

当日は、十一組、約三十人の親子が参加、手作りの飾りや料理を持ち寄り、楽しいひとときをすごしていました。



東由利
トピックス

大台冬季分校が開校



ちょっぴり緊張ぎみの子供たち

大琴小学校大台冬季分校の開校式が十二月四日、同分校体育館で行われました。

開校式では全員で大台分校の校歌を斉唱した後、佐々木校長が「寒さに負けず、元気で頑張ってください」と児童たちを激励、これを受けて児童代表の猪股晃成くんが「お父さん、お母さんに見守られて開校式を迎えることができるとても感激しています。みんなと力を合わせて元気で頑張ります」と誓いの言葉を述べました。

今季は、一年生二人、三年生三人、五年生二人の計七人の子供たちが、三月十九日まで分校で勉強することになっています。

親子の触れ合いの機会に

青年会が親子映画会

「感動する映画を見て、親子の触れ合いの機会に」と青年会が企画している親子映画会が十二月四日、有鄰館で行われ、約二百人が鑑賞しました。

今回上映された映画は、クレヨンしんちゃん、水の旅人の二本。開場前には、青年会員の出店も準備され子供たちで大にぎわい。特にカップヌードルは飛ぶように売れていました。

青年会では「子供たちの喜ぶ顔を見ているととても楽しい。今後もいろいろな映画を上映したい」と話しています。



カップヌードルは人気のま

除雪作業の安全を誓う



40人が参加した安全祈願祭

除雪作業の無事故を祈願する「除雪機械安全祈願祭」が十二月七日、役場車庫で行われました。

今年度の除雪計画では、交通量などにより道路をA路線（九七・四枝）、B路線（二八・八枝）、C路線（一二・三枝）の三種類に区分し、町直営で町道など九四・八枝、業者委託で国県道など四三・七枝が除雪されます。

安全祈願祭には、町、委託業者などの関係者約四十人が出席、神事の後阿部幸悦町長が「積雪量の多い本町にとっては、除雪作業は欠かせないものです。時間が不規則で大変とは思いますが、健康に気をつけて頑張ってください」と除雪作業員を励ましました。

本町のミニ消防官 防火PRに大活躍

本荘地区消防事務組合が毎年この時期に行っている「ミニ消防官防火PR」が十二月十九日に本荘市で行われ、本町の永慶、みどり両保育園児十八人が防火PRを行いました。

消防本部で制服に着替えたミニ消防官は消防車に乗って会場のジョイフルシティ本荘店やジャスコサンプラザ店に到着。買い物客にポケットティッシュやチラシを配布し、「火の用心してください」と火災予防を呼びかけました。

消防本部では「子供のころから火災予防を認識してもらうとともに、地域一体となった防火活動のため今後も続けていきたい」と話しています。



大活躍のミニ消防官

HIGASHIYURI

東由利の話題

TOPICS



町の宝もの

20

律沢「シメブチ」

部落の家並みのはじまる道瑞左右の約五尺の支柱に横木を渡し、写真のよくな縄の大蛇を架けています。いつ頃からこのワラ大蛇を作るシメブチの風習があったか、土地の人もわかってないが、毎年二月三日に行う十



五戸の共同として守り継がれています。目的は厄病除けと火伏せのためとされ、この行事のおかげで何百年も火災がないのだと部落では誇りにしています。産土神は部落入口山手の御嶽社（田の神を合祀）で、祭事は五戸単位の当番制でシメブチもこの当番が当たり、ワラを持ち寄り全員の協力ではぼ十四尺の長さに編みこんでいます。龍頭部が木彫・次が三又状の前足・ナデと呼ぶさがり房・ヘソ・注連状のさがり・後足の形になっています。

（文・畑山昭一）

何をひくひくするのぞいしょくか？

株式会社トーホク秋田工場では、十五人の従業員が働いています。木やプラスチックの箸を年間四百万膳製造しているほか、箸立て、箸箱、箸枕なども製造しています。最近「太くて重い箸」が喜ばれているらしく、紫檀、黒檀を材料にした箸が主流になっています。同社では「一膳一膳ていねいに製造している。今後は新製品の開発が大き

箸を製造

（株）トーホク秋田工場

な課題」と話しています。



愛育班から

おかあさん登場

大日向静子さん（蔵新田）



私たちの年代は、俗に言う「働き盛り」の年代なので自分の家のことで一杯というのが現状です。愛育班では蔵新田地区の九軒を担当していますが、地区の人たちに迷惑ばかりかけて申し訳なく思っています。以前のように、おばあさんと子供たちが散歩して、井戸端会議の中で愛育班活動が行われていた時と違い、会社勤務の人が多く今では、仕事や家庭に追われて活動が思うようにいかないのも事実として受け止めなければならぬ時代だと思えます。そんな中でも分班長会議では、日常生活のうえで勉強になることがたくさんあります。「塩分を控えめに」という事は前から心掛けていましたが、愛育班活動でまた一つ勉強したと思っています。あと少しの任期を自分なりに頑張りたいと思います。

▲高橋英樹君（大琴小）



▲小野裕子さん（八塩小）



4人が入賞

小学校防火ポスター展 学校賞に八塩小

少年少女の防火意識の高揚を図るための小学校防火ポスター展が、このほどジョイフルシティ本荘店で開催されました。

本荘、仁賀保、矢島地区の三消防本部が主催したこの防火ポスター展には、本荘市と由利郡内の二一校から一、二二点の作品が出品されました。

審査の結果本町では、四名の児童が入賞しました。また、出品率、入賞率とも高い八塩小学校が学校賞を受賞しました。



▶小松田友樹君（八塩小）



▶佐野真一君（八塩小）



ことしも「健康第一」でがんばります

いきいき、クローズアップ

今年の干支は戌。町内には成年生まれの人がたくさんありますが、3世代で成年生まれの世帯は3世帯。このうちの2世帯におじゃまして、今年の抱負を聞いてみました。



右から弘子さん、康浩くん、新一さんの3人



右から洋子さん、未幸さん、ツヤ子さんの3人

松柴・高橋新一さん（昭和九年生まれ）、弘子さん（昭和三三年生まれ）、康浩くん（昭和五七年生まれ）
新一さん仕事は町の造林作業手。「力仕事が多くて大変。特に夏場の下刈りが一番重労働」と話ながら「体の続く限り頑張りたい」と意欲満々。
弘子さんの仕事は、葉たばこの栽培。夫の春雄さん、おばあさんのアイさんと三人で担当しています。三月中旬から作業が始まり、四月、五月で植え付け、七月から九月にかけて収穫、その後、乾燥、調整と忙しい毎日を過ごしています。「雨が多い年の葉たば

こ作業は気を使います。今年は、重さはあったが、質はあまり良くなかった。でも結果的にはまあまあかな」と話しています。
康浩くんはスポーツ大好き少年。特に野球が好きで希望の守備位置はホットコーナーと呼ばれるサード。また昨年のスキー大会では銅メダルだったので、今年は金メダルが目標との事。そして「テストで一〇〇点をとりたい」というのが今年の抱負です。
家族全員でご飯を食べるときは、会話が弾み楽しいひととき。「やっぱり健康第一です」と新一さんが今年の抱負を話してくれました。

袖山・木嶋ツヤ子さん（昭和九年生まれ）、洋子さん（昭和三三年生まれ）、未幸さん（昭和五七年生まれ）
ツヤ子さんの主な仕事は、食事当番。「献立の内容には、毎日気を使っています。今年も家族が健康で仕事に頑張れるようにと思っています」と今年の抱負。大きな病気もしない毎日で、雪の多い日には雪よせもしているとの事。「三人の孫が帰ってくるのを毎日楽しみにしています」と話しています。
洋子さんは秋田ルビコンに勤務している会社員。「健康第一」が今年の抱負。会社では、検査を担当しており「不

良を出さないように心掛けています」との事。「女子職員が多く毎日楽しく働いています」と話しています。
未幸さんは今年、大琴小学校の六年生になります。「昨年は卓球大会でベスト八だったので、今年はそれを上回る成績を残したい」と今年の抱負。「卓球をして勝ったときはとてもうれしい。でも負けた時でも、その人のどこが良かったか、見習って上手になれるから卓球は大好き」と元氣一杯に話しています。
「家族全員が元気で頑張れる年」が三人の一致した抱負でした。



田代・渡辺あかりちゃん
(H3・12・15日生まれ)
利宏さん、美喜子さん
の二女

わが家の
アイトル

「お人形さんごっこで毎日楽しく遊んでいます。やさしくて、賢い子になってほしい」とお母さんの美喜子さん。

東由利——ニューズダイジェスト⑩

あめの日・あめの時

たばこの売上は上々

昭和四十九年産のたばこの収納が、同年十二月六日から横手収納所ではじまり、十アール当たり二十八万五千七百四十四円、総額で四千三百七十七万四千七百円の売上げとまずまずの成績となりました。当時の生産者は六十四人。

十アール当たりの最高は三十七万四千四百円、総売上げが百万円以上の人は七人にものぼりました。

増田出張所では「東由利には葉たばこの適地が多いように見受けられます。収益性の高い農業に町民が目を向けてくれれば」と葉たばこの有利性を説き、作

付面積の増加を呼びかけています。

葉たばこは今では改良が進み、販売総額が約一億五千万まで伸びています。



生産者ホクホク
売上げ最高は10・37万円

新年度へ新たな期待

東由利の文芸

せせらぎ句会(十二月)

- ◆近づけば餌付の鴨は群れて寄る
- ◆冬かもめ庇短かき漁師町
- ◆沼尻に小波をよせて鴨の群れ
- ◆鴨翔ちてもとの静けさ山の湖
- ◆冷害の田に立つ父の懐手

- 小松慶治郎(高戸屋)
- 小松 正昭(下小路)
- 工藤 武雄(山崎)
- 小松順之助(中通)
- 小松 忠正(下通)

専門学校卒業後、現在の会社に就職した彼女は、成年生まれ。会社では、縫製の仕事をしており、ジャケットやスーツを作っています。

彼女が今一番気にしていることが冬道の通勤。夏場は四十分

高橋和子さん(23歳)
宇戸坂・モード東京(本荘市)勤務



前後の通勤時間が、冬場は五十分から一時間との事。「冬道の通勤はともこわいので、除雪をきちんとしてほしい」と要望を一言。また「道路が良くなる」ととても便利だけど、昔の面影が全然なくなり、寂しい気もする」とも話しています。

年女としての今年の豊富は「あんまり無理しないで自然に暮らすこと」とか。
カラオケが大好きで、「友達とカラオケに行っているときが一番楽しい」そうです。
次は、佐藤千賀子さん、あなたにリレーします。

- ◆欲得もにぎりしめたる懐手
- ◆風強く渡る水面に鴨一羽
- ◆エンピツをとがらしながら懐手
- ◆村の作業決まるまでの懐手
- ◆道問えばあごしゃくりする懐手
- ◆親子鴨水輪を置いて橋くぐる
- ◆朝市場下見にまわる懐手
- ◆バス停に遅れるバス待つ懐手
- ◆鴨翔ちて沼の深寝をゆり起す
- ◆尻振って大道渡る親子鴨

- 大庭喜右工門(舟木)
- 小野石路子(上里)
- 阿部 俊子(横渡)
- 鈴木 要(沼)
- 小松 徳蔵(湯出野)
- 阿部 ナミ(蔵)
- 菊地 常作(湯出野)
- 小笠原トミ(蔵新田)
- 小笠原亮子(蔵新田)
- 佐藤 正義(湯出野)

笑顔の子供たち



猪股晃成くん

ぼくの将来の夢は、父さんの仕事と同じ仕事をする事です。父さんは、建具を作る仕事をしています。家で作っている時などは、ぼくもよく手伝いをします。細かい作業をして完成した作品をながめると、とても美しく感動しました。苦勞して一つの物を完成させるといふところがとても好きです。将来、日本の名工と呼ばれるようになりたいです。



佐藤美喜子さん

私の夢は、看護婦になることです。なぜ、なろうかと思うようになったかという、父さんが看護婦さんになればいいと言ったからです。

看護婦の仕事を見ていて、一番すてきなところ、病院を退院していく人を見送る姿です。みんな喜びに満ちています。将来、私もたくさんの人

を笑顔で見送れる看護婦さんになりたいです。



高橋美和さん

私は、ムツゴロウさんが大好きで、将来私もあんな風になれたらいいなと思っています。馬や犬、サルなど全ての動物とま

でお話ができるのかと思うくらいすごく仲良しになりたいです。そして、動物のケガや病気を治してあげたりできるように、じゅう医の資格も取りたいです。毎日を大好きな動物達と楽しく暮らしたいです。

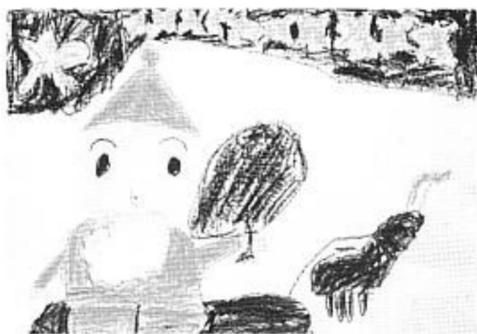
未来の夢は？ (大琴小5年生)

おおひなたなおき(大琴)

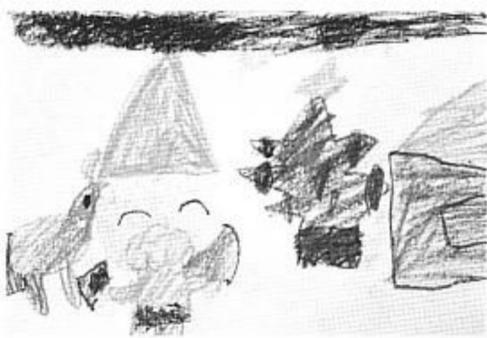


ぼくの絵 わたしの絵

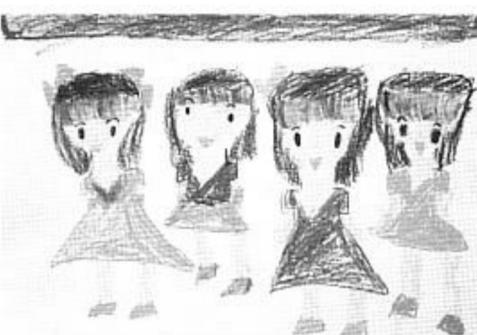
だいすきな絵



おのえりこ(上里)



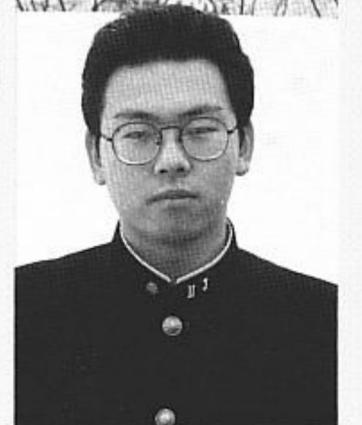
こまつしずか(湯出野)



いとうみどり(蔵)

ハイスクール 〇 日記

生徒会長 になって



下郷分校2年 遠藤 一弘さん

生徒会役員選挙が終わり僕たちは、教室で選挙結果を待っていました。しばらくして選挙結果が放送で発表されました。「二十四票対三十二票で遠藤一弘君が当選されました。」僕はとても驚いてしまいました。「まさか僕が」という気持ちでいっぱいになりました。

任命式が行われました。どきどきしながら教頭先生から任命証を手渡されました。その時初めて「これから何事にも一生懸命頑張っていかなければならぬんだなあ。」と心の中で思いました。

した。

前生徒会長も今まで僕たちのために学校の中のことから外のことまでいろいろな面で頑張ってきてくれました。今度は僕がその仕事を引き継いで頑張っていきたいと思います。けれども自分一人だけではこの学校を良くすることはできません。学校内のみならず、そして町内のみならずとみんなで協力して初めてとても良い学校というのができあがると思います。ですからこれからは、学校内の行事のみならず地域の行事などにも積極的に参加し頑張っていきたいと思っています。

1月→データ東由利

(11/1~11/30)

人口	()は前月比
■男	2,723人(1)
■女	2,860人(△4)
■計	5,583人(△3)
■世帯数	1,423戸(5)

()は1月からの累計

●出生	1人(34)	●死亡	8人(70)
●転入	10人(82)	●転出	6人(133)
■火災出動	0件(4)		
■救急出動	15件(89)		
■交通事故	1件(6)		
●死者	0人(1)	●傷者	1人(5)
■飲酒運転	0人(0)		
■酒気帯び	1人(4)		

カレンダー 1月の行事

- 5 新春座談会(高瀬館9:30~)
 〃 (住吉会館13:00~)
- 6 消防出初式(健康増進センター
10:00~)
- 7 新春座談会(玉米会館9:30~)
 〃 (大蔵館13:30~)
- 9 〃 (老方館13:30~)
- 12 〃 (袖山館13:30~)
- 12 フレッシュ教室(有隣館9:30~)
- 17 新春座談会(克雪センター
13:30~)
- 18 特別職等報酬審議委員会
(有隣館13:30~・予定)
- 20 健康大学(有隣館13:00~)

※1月10日は110番の日。事件、事故はためらわず110番。

東由利

郷土の野草

No.107



ウバユリ

(ユリ科)

文・写真 小松忠正

本州全土に生える多年草で、本町の林中や山裾など、どこでも見られます。雪どけを待ちかねたように早春、葉脈の赤い光沢のある大型の卵状長楕円形の葉を出し、八月ごろ葉の中心から花柱をたて、その先に緑白色の筒状の大型花を横向きに数個〜十数個つけます。この草は、花が咲く頃になると根元の葉が枯れてなくなってしまうことが多いので、娘を育てて、その娘が年ごろ(花盛りの頃)になると歯(葉)がなくなる姥にたとえて名づけられたといわれています。

戸籍

の窓

(11/21~12/20届出・敬称略)

●お誕生おめでとう

- 1/26 大日向 幸樹ちゃん(和弘)三男・大琴直美
- 1/23 遠藤 智美ちゃん(羊子)二女・小倉薫
- 1/20 小野 沙耶加ちゃん(房範)長女・祝沢幸子

●ご結婚おめでとう

- 1/30 佐藤 公 夫さん 新町
- 1/30 佐藤 久 子さん 稲川町

●ごめい福をお祈りいたします

- 1/21 佐藤イサミさん(80)征進(妻の母)時雨山
- 1/20 横山マツさん(93)昌夫(母)智者鶴
- 1/20 小松四郎さん(72)ミドリ(夫)上通
- 1/20 佐藤ハルヨさん(74)雄一(妻)中通
- 1/16 佐々木 馨さん(83)道義(父)大琴

私の好きな風景

弁天島のツリー



すっかりおなじみの弁天島のツリー。道行く人々の目を楽しませてくれます。(撮影・広報担当)

まがしゅろ

町社会福祉協議会に、遠藤重和さん(本荘市)、玉米カラオケ同好会、佐藤孝一郎さん(中通)からご芳志が届けられました。広報送付の謝礼として遠藤庄助さん(函館市在住、小倉出身)、大瀧村東由利会、藤原淳悦さん(練馬区在住、上通出身)、畑山齋さん(札幌市在住、島出身)から金一封が、小野己喜男さん(墨田区在住、須郷田出身)から文庫本が、大門イエさん(市川市在住、寺田出身)から押花絵がそれぞれ届けられました。ありがとうございました。

ほっととき

平成六年最初の広報をお届けします。今年もよろしくお願ひします。

さて、テレビ塔からの町の風景は何度かご紹介してきましたが、「冬の風景はあまり見たことがない」と言われ、「なるほど」と納得した私は、晴れ間を見て、役場の軽トラで向かってみました。舗装道路が途切れる付近まで車で行って、後は徒歩。長靴すれすれの雪を歩いて約三十分、ようやく到着。冷たい風が心地よく、とてもきれいな風景でした(十三ページの写真)。これからもいろいろな風景を撮影したいと思ひます。